

2007年11月22日
株式会社J-オイルミルズ

「豊年一番搾りキャノーラ油 エコパックス」
「ジャパンスター賞 経済産業大臣賞」受賞のお知らせ

「地球にやさしい、私もうれしい。エコグッズプレゼントキャンペーン」
実施のお知らせ

【概要】

株式会社J-オイルミルズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：佐々木晨二）と凸版印刷株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：足立直樹）は、環境配慮とユニバーサルデザインの両面を改良した「豊年一番搾りキャノーラ油 エコパックス」（凸版印刷の食用油容器「やさしいエコテナー」を採用）で、（社）日本包装技術協会が主催する「2007日本パッケージングコンテスト」において、最上位賞である『ジャパンスター賞 経済産業大臣賞』を受賞しました。

【「豊年一番搾りキャノーラ油 エコパックス」について】

当社では、環境に配慮した商品の開発・製造に取り組んでいます。
1993年に「エコテナー（凸版印刷）」を採用してエコパックスを発売し、食用油容器としては初めて「環境対応型容器」として「エコマーク商品」の認定を受けました。
この容器は、プラスチックボトルに比べ樹脂使用量を約65%削減しており、また使用後の紙製外箱とプラスチックの分別が容易であることから、エコマークの認定を15年間受けています。
06年秋のリニューアル発売で「豊年一番搾りキャノーラ油 エコパックス」は、使用時の持ちやすさ、傾けやすさ、滑りにくさなどを改良し、環境配慮の観点から、大豆油インクを採用しました。

（a）ユニバーサルデザイン

外箱の両側面にミシン目で指穴を設置。
ここに持ち手の親指と中指をかけられ、持ちやすくなりました。
滑り止めとして、外箱に水性ハイグロスニス、指穴の下部に波形のエンボス（凹み）を施しました。
女性の手のひらサイズでも容易に持てるよう、側面がくびれる加工を施しました。
必要な情報を大きく、見やすく、わかりやすく表示しました。

（b）更なる環境配慮への取り組み

納入はスリーブ状で、内容物充填時に組み立てるため、在庫スペースが削減できます。
リサイクル可能な外箱（再生紙使用）は折りたたみため、使用後の分別が容易です。
大豆油インクを採用し、リサイクル適性が向上しました。

【「日本パッケージングコンテストについてについて】

優れたパッケージとその技術を開発普及することを目的として実施される、包装業界における日本最大のコンテストです。
（財団法人日本包装技術協会主催）添付の資料をご参照ください。



【今年度4冠受賞】

「豊年一番搾りキャノーラ油 エコパックス」は、“ユニバーサルデザイン”と、“環境”に配慮した優れた商品として、パッケージ、並びに包装技術が評価され、今年度、下記4賞を受賞しました。

	内 容
ジャパンパッケージングコンペティション 第46回 リニューアル部門賞	社団法人日本印刷産業連合会が主催する市場で販売されている コマーシャルパッケージの優秀性を競う商品包装展で、時代のニ ーズを先取りし、リアリティーの高い包装が展示されます。2007年 の今年は、『暮らし生き活き優秀パッケージ』をキャッチフレー ズに行われました。
日本包装技術協会 第31回 木下賞	社団法人日本包装技術協会第二代会長、故木下又三郎先生の包装 界に対する多年の功績を記念して、設定されたものです。包装技 術の研究・開発に顕著な業績をあげたもの 包装の合理化・改 善・向上に顕著な業績をあげたものに対して毎年5月に授与さ れるものです。
日本包装技術協会 第29回日本パッケージングコンテスト 経済産業大臣賞(最上位賞)	社団法人日本包装技術協会(JPI)が主催する、「時代と社会の要請 に対応した、生活文化に優れたパッケージ及びその技術の開発普 及に資すること」を目的としたコンテストです。入賞作品のうち、 最優秀作品には経済産業大臣賞が授与され、本年度の最優秀パッ ッケージとして国内外に広く紹介されます。
日本食糧新聞社 第10回日食優秀食品 機械資材・素材賞【資材部門】	食品業界の発展は優秀な食品機械ならびに関連資材・素材に負 うところが極めて大きく、こと品質とコスト面での競争力は、この 分野で決定的な優劣を決するものとなる。このため食品界をパッ クアップする機械と資材・素材業界の力強い発展を期して、顕彰 と感謝を表すために制定したものである。

【地球にやさしい、私もうれしい。エコグッズプレゼントキャンペーン】

「豊年一番搾りキャノーラ油 エコパックス」を、広くお客様に認知していただくためのキャンペー
ンを12月1日よりスタートいたします。添付の資料をご参照ください。



【添付資料】

2007日本パッケージングコンテスト入賞作品集より
発行所：社団法人 日本放送技術協会

JAPAN PACKAGING CONTEST 2007



Outline of Japan Packaging Contest

優れたパッケージとその技術を開発普及することを目的として実施される、日本パッケージングコンテストは、社団法人日本包装技術協会の主催で毎年開催されています。

次の5大特色を持つ本コンテストは、我が国の包装分野における最大のコンテストです。

(1) 優秀の目じるしはGPマークで

本コンテストは、日本のパッケージの最高水準を決定するものです。材料、設計、技術、デザイン、ロジスティクス、S・P、アイデア、環境対応、適正包装等あらゆる機能からみて食品部門、医薬品部門、化粧品部門、電気・電器部門、日用品・雑貨部門等から年間の優秀作品を選定するもので、最高賞のジャパンスター賞をはじめ入賞作品にはすべて優秀の証として、GPマークの使用が許されます。

(2) グッドパッケージを一覧に

本コンテストでの入賞作品は、暮らしの包装商品展2007の特設会場にて一般公開されます。

(3) 適正包装の特に優れた実例を！

消費者のための包装を意図し、機能を満たし、かつ包装の容積、重量、コストを軽減すると共に省資源化、省力化の要請に応じた商品別適正包装の実例で特に優れたもの、改善努力の著しいもの、また、これらの条件に加えて、輸送の分野においては物理的流通近代化に寄与するためのシステム志向も重視されます。

(4) パッケージデザインからロジスティクスまで

本コンテストは個包装から外装まで、すなわち生活者包装、輸送包装のすべてを網羅しています。デザインからロジスティクスまでこれは本コンテストだけが持つ最大の特色です。

(5) 世界の格闘台

アジアスター及びワールドスターコンテストへ
日本パッケージングコンテストに受賞された作品は、アジアスターコンテスト(主催：アジア包装連盟(APF))、ワールドスターコンテスト(主催：世界包装機構(WPO))への出品資格が得られ、アジアスター賞、ワールドスター賞をめざして世界各国からの作品と競い合います。

The Japan Packaging Contest is held every year under the sponsorship of the Japan Packaging Institute with the aim of promoting development and spread of high-quality packages and packaging techniques over the country.

With the five major features shown below, it is the nation's greatest and most influential contest in this field.

{ 1 } GP Mark for Superior Package

The contest is intended for determining the highest level of the Japan's current packaging technology. The year's best packages are selected in view of material, concept, techniques, design, logistics, S.P, idea, environment, suitability and various other functions. Let alone the highest Japanstar-Winner, all prize-winning packages will be permitted to use the GP mark representing their excellent quality.

{ 2 } All Good Packages to be Exhibited

All packages winning awards in the Japan Packaging Contest will be displayed in "Japan Production & Packaging in Daily Life 2007" to be held in fall of 2007.

{ 3 } Excellent Examples of Appropriate Package

In each product category, particularly excellent or highly improved products will be selected based on judgment on whether they are designed thoroughly for users' sake, consistent with functional requirements, small in surplus space, weight and cost, and compatible with resources and labor-saving requirements. In the category of transportation, requirements is also attached, in addition to the above criteria, to systematization which can contribute to the modernization of physical distribution.

{ 4 } From Design to Logistics

Ranging from individual packaging to outer packaging, the contest covers all types of packaging, including consumer packaging and transport packaging. "From design to logistics" is the contest's unique and most important feature.

{ 5 } Entry for Asiastar and Worldstar Contents

The packages winning awards in the Japan Packaging Contest will be admitted to the Asiastar Contest which will be held under the sponsorship of the Asian Packaging Federation (APF). Furthermore, selected packages will be permitted to enter the Worldstar Competition sponsored by the World Packaging Organisation (WPO) for the competition with packages from various countries all over the world.